



# あったか荻野



【学校教育目標】

「自ら学び、心豊かにたくましく生きる子どもを育成する」

横須賀市立荻野小学校

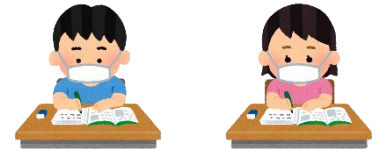
学校だより 第 12 号

令和3年 1月13日

校長：山田伊久男



新しい一年が始まりました。今年もよろしくお祈いします。ここ数日で一気に感染拡大が広がってきている状況ですが、修学旅行が10日～11日で何とか実施できてよかったです。6年生にとって貴重な思い出ができたと思います。一方、今月の授業参観は中止することにしました。今後一層の拡大も想定され、校内に多くの人が入るのは難しいと判断しました。結果的に、2年続けて運動会以外の参観の機会が持てなかったこととなります。保護者のみなさまの心情を思うと辛いものがあります。せめて、担任からのお便りやこの「あったか荻野」、HPのブログなどで、少しでも多く情報を発信していきたいと思ひます。また、何かご相談やご心配などがございましたら、遠慮なくご連絡ください。



## ●学校運営協議会の設置について

ご存じの通り、子どもたちや学校を取り巻く環境や課題は、より複雑に多様になっています。そのため、学校や家庭だけではなく、社会全体が関わった教育が必要とされ、国から「地域とともにある学校」という考え方が示されました。それを実現する方法の一つに「学校運営協議会」というものがあります。横須賀市では令和4年度から全小中学校で設置することになり、各校が準備を進めています。本校では次のような目的で活動します。

- ①教職員・保護者・地域で、本校の目指す児童像や学校教育目標を共有する。
- ②協議を通して、本校児童や学校運営上の課題を明らかにし、解決に向けて協働する。
- ③協働的取組を通して、児童の郷土愛や担い手としての意識向上を図る。

本校の特徴は、大楠・武山の二つの連町・学区にかかわっていることです。そのことを踏まえて初年度の構成員を次の方たちにお祈いする予定です。

「学校を俯瞰的に見ていただく現在の学校評議員4名」「保護者の立場からPTA会長1名」「地域住民の立場から本校に関わる大楠連町・武山連町の代表各1名(計2名)」「地域行政を担う西行政センターの職員1名」です。なお、学校からは管理職2名と総括教諭1名・地域連携担当者1名が参加予定です。

本校は、開校当時から地域のみなさまに愛され、支えられてここまで来ましたが、40年経つ間に、地域の状況もだいぶかわったと伺っております。子どもたちの教育にお力添えをいただきながら地域にとってもプラスになるような活動や、子どもたちがこの地域を愛し、将来的に地域の担い手となって貢献していくような活動を、この会で一緒にじっくりと協議・協働することで、本校が「地域とともにある学校」になると考えています。

